

非行化防止と交通安全に 取り組む原田地区

年末年始の交通事故防止、青少年非行化防止を地域ぐるみで進めていこうと、原田地区でさきごろ総決起大会を開きました。健全な青少年育成は家庭から、交通事故防止も家庭からを合言葉に、全区民が一丸となって運動を進めています。なお、大会で、優秀作文を発表しましたが、そのなかから、原田小2年くぼたちひろ君の「交通あん全」を紹介します。



交通あん全

原田小2の3 くぼたちひろ

この間、先生が「12月11日から、1月10日まで、1か月も交通あん全しゅうかんがあるよ。」といました。

「ひと月もやるなんて長いね」とだれかがいうと、先生は、「年のくれだから、いそがしいでしょ。それに、お正月は、気のゆるむ人が多いから、じこをおこさないようにつかったのよ。」といました。

そして、先生が、「おうちの人や交通事故にあったことのある人」ときいたら、8人もの人が手をあげました。その中には、おとうさんがしてしまったので、おじいさんやおばあさんにそだててもらっている人もいます。おとうさんが東めいで事故をおこして、半年くらいも入いん

していたといった人もいます。2年生でも、なつ休みにこうつうじこにあった子がいましたが、2学期がおわるのに、まだ、みんなといっしょに体そうもできないでいます。

交通あん全というと、ぼくは、自分がじ故にあいそうになったことを思い出します。

1学期のことです。ぼくが、学校から帰ってから、おかしをかいにいった時のことです。ぼくは、おかしを早く食べたいので走っていきました。まがりかどに来た時、店やがみえたのでうっかりそのまま走って道をよこぎってしまいました。上からきたオートバイが、ぼくの左手をかすめてヒュッと通ったので、ぼくはものすごくびっくりしました。あんまりびっくりしたので、まっ青にな

ってしまいました。足はうごかず、へんなかっこうのまま立っていました。はっと気がついたら、大ぜいの人がぼくの方を見て「あぶない子だね。あれは、子どもがわるいね」といっていました。

あの時、もし、ぼくがじ故にあっていたらと思うと、今でも、体がふるえてきます。それからは、おかしを買いに行くときは、道へ、とび出さないように気をつけています。

きのう、テレビで、「しずおかけんの交通じこは、ふえていて、国道より町の中のほそい道の方が多い」といいました。原田の道は、さかやほそい道が多いから、気をつけなければならないと思いました。

学校でも、ろうかやかいだんに、ひょうごがはってあります。「ゆっくりあるこう」とか「とび出すな、こうつうじこは、ろうかにもある」なんてかいてあります。

ぼくも、交通あん全に十分気をつけますから、車をうんてんする人も、ゆっくり走ってください。

1月の

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなでみてくださると、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■1月11日

外科 神谷医院(川成島 61-5900)
渡辺病院(錦町1 51-3751)

産婦人科 谷医院(八幡町 61-0039)

■1月15日

外科 田辺医院(本市場 61-8410)
芦川病院(中央町2 52-2480)

産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■1月18日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
清河医院(広見6 52-6212)

産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■1月25日

外科 米山病院(吉原4 52-3060)
石川医院(瓜島 52-1985)

産婦人科 池谷医院
(水戸島本町 61-0873)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間

は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。